

地域産業の担い手育成プロジェクト（農業分野） 平成20～22年度 『食・くらしを支える専門的職業人育成プログラム』

～P D C Aサイクル型問題解決人材の育成を目指して～』 **山梨県**

- 事業実施機関** … 山梨県教育委員会、(財)山梨県農業振興公社
連携省庁 … 農林水産省
取組校 … 山梨県立北杜高等学校、山梨県立農林高等学校
 山梨県立山梨園芸高等学校、山梨県立笛吹高等学校

事業目標

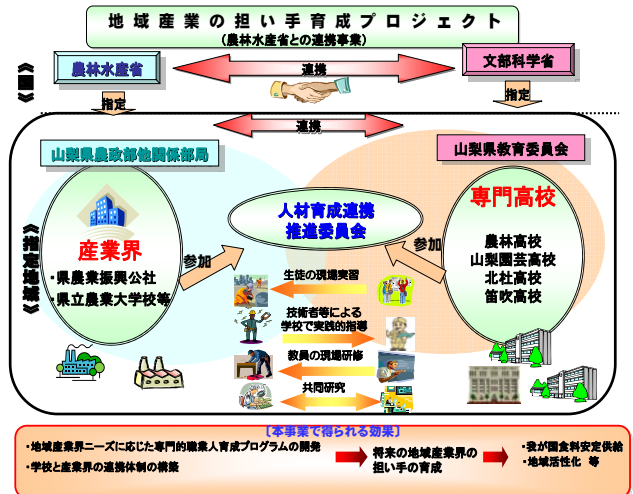
- 地域産業の技術技能の継承と地域産業を担う専門的職業人の育成
- 本県農業教育の活性化
- 研究成果を県内専門高等学校へ普及

事業の概要

平成20年度から3年間、文部科学省の「地域産業の担い手育成プロジェクト」と農林水産省の「地域連携農業高校実践教育推進事業」の連携プロジェクトの研究指定を受け、本県の農業や林業、建設業、造園業、食品加工などの地域産業を理解し、専門的な技術・技能を習得するために、県内農業系高等学校(北杜、農林、山梨園芸・笛吹)と農家・企業・関係機関が連携を図り、

- ①実践的技術を習得する生徒の現場実習
- ②技術者等による実践的指導
- ③教員の高度技術習得を目標とした研修
- ④農家や企業との共同研究

等に取り組んだ。それぞれの取り組み過程では、P D C Aサイクル型問題解決能力の醸成と地域産業を担う実践的技術を有する人材育成に努めた。



事業内容と成果

《生徒の現場実習》

- 内容** ①企業等でのインターンシップによる体験学習、各学科の専門と関係の深い農家・森林組合・企業や農業大学校と連携した農家研修、現場実習、長期間の実習であるデュアルシステムを通して、専門的知識・技術・技能の習得を行った。
 ②農業・林業・土木・建築・造園・食品等の食・農・くらしの関連産業での実習を行った。
 ③P D C Aによる問題解決型の実習を行った。
- 成果** ①地域産業への関心、職業や仕事への理解が進んだ。(生徒) 社員の教育や社員の士気向上などが活性化した。(企業)
 ②生徒の意欲と自信を深め、進路実現に大きく貢献した。(教員)
 ③学ぶ目的が明確となり、知識や技術を学ぶ意欲が向上した。(生徒)



《技術者等による学校での実践的指導》

- **内容** ① 専門学校山梨県立農業大学校講師による栽培技術指導、農政部研究員による山梨県育成品種の育種技術、大学教官によるアグリビジネス・マーケティング講座 等
- ② 技術者による森林資源の有効活用、木材加工技術指導、工事丁張り講習会、ケーキ洋菓子づくりの技法、農薬の安全性について 等

- **成果** ① 農業や地域企業に働くことに興味・関心を持つようになった。
- ② 学ぶ目的と目標が明確化し、知識や技術を学ぶ意識が向上した。
- ③ 生徒の職業観や勤労観が向上した。



《教員の高度技術習得》

- **内容** ① 農家・企業・試験場での栽培技術研修（セロリー・イチゴ・お茶・モモ・ブドウ）、東京太田市場研修、屋上緑化など新技術の研修
- ② 民間企業講師による食の安全栽培研修（農薬、農業機械）
- ③ シンクタンク講師による農業食品リサイクルビジネスの現状と教育の関わりについての研修

- **成果** ① 新しい技術・技能の習得や技術等の指導力が向上した。
- ② 食の安全安心に関わる法律や技術・技能の理解が進んだ。
- ③ 今後の農業動向やアグリビジネスについての視野が広がった。



《共同研究》

- **内容** ① 地元の菓子メーカーと共同研究を行ない、県産果樹を使った商品開発・レシピの作成、製作技法の向上
- ② 農家と連携した栽培技術の開発、品種改良への興味・関心の醸成
- ③ 森林総合研究所と共同で「高山植物保護と活用」の研究

- **成果** ① 事業3年目は、対象の生徒・教員・保護者・技術者等の事業に対する満足度が80%を越えた。
- ② 地元企業への就職率は、90%以上である。
- ③ 食・農・くらしの人材育成に関する産学官のネットワークが構築できた。



連絡先 ◇ 山梨県教育委員会高校教育課
〒400-8504 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL : 055-223-1763 FAX : 055-223-1768 URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/koukoukyo/>

◇ 財団法人 山梨県農業振興公社
〒400-0034 山梨県甲府市宝1-21-20
TEL : 055-232-2760 FAX : 055-223-2117 URL : <http://www.y-nk.jp>